

読むだけで、元気になるレポート

パートナー 村松 達夫

皆さん、こんにちは。まだ6月だというのに夏真っ盛りのような暑さですね。体調管理は大丈夫でしょうか？さて今月もご笑読頂ければ幸いです。

【今月の発見】

映画館は何故無くならないのか？

最近の映画は3ヶ月もするとすぐにDVDになるので、ますます自宅で映画を見る人が増えてきております。では「もし映画の封切り日と同時にDVDがレンタル出来るようになったとしたら、映画館は無くなるのだろうか？」という質問の答えを考えてみたいと思います。

私の意見は「無くならない」です。その理由を一言で言うと、

「自宅でDVDを見るよりも圧倒的に不便だから」

です。

一体どういうことなのか？まずは映画館でしか体験できないことをリストアップしてみたいと思います。

< 映画館でしか体験できないこと >

1. 巨大なスクリーンがあるので、いやでも視界に入ること。
2. 真っ暗なので映画以外のものを見ることが出来ないこと。
3. 途中で停止したり、巻き戻したり出来ないので、まばたきすらできないこと。
4. CMが最初に流れ、映画の途中で休憩はないので、トイレにいけないこと。

ナント、ほとんど不便なことばかりです。つまり高いお金を払ってわざわざ不便な思いをしに行っているというわけです。しかし不便なことが悪いことか、というとそうとは限りません。ちゃんとメリットもあります。それは否が応でも映画に熱中できる環境を作っていることです。

DVDはビデオよりも便利にすることで価値を生み出しましたが、映画館は不便なままにしていることで逆に価値を残しているというわけです。スポーツジムなども同じ理屈で成り立っていると思いますがいかがでしょう。是非、新サービスを考える時の参考にしてみてくださいね！